



6

2023 June
No.316



第26回通常総代会 地区別JA座談会Q&A

式部の里10周年記念イベント
はびすのわ・住吉支店

頑張る人には福が来る
がらびり屋
NO.63
マンゴー生産者 横山 洋一さん

野菜でアレンジ!



野菜は食べてもちろん美味しいですが、
食べる前にテーブルに飾ってみる
というのはいかがですか??

デザイン・製作 ● 吉野花壇 (代表) 吉野恒男

ワンポイントアドバイス

今回は自宅用として竹串を使い、高さを調整しました。

箱に綺麗に並べてベジタブルアレンジや可愛い紙で包んだ野菜ブーケを作って、食べられる贈り物としても良いですね。



花材 (左から)

- ・バセリ
- ・ミニトマト
- ・ローズマリー
- ・日向夏
- ・ハツカダイコン
- ・ケール
- ・いちご
- ・カブ

☆好きな野菜や果物を使ってください☆

G7 生産者花き展示で彩る

4月22・23日、G7宮崎農業大臣会合がシーガイアコンベンションセンターにて開催されました。その会場内には宮崎市園芸振興協議会花き部会による装飾で、たくさんの色とりどりの花が展示されていました。

切花部会吉野恒男会長は会場の装飾をお手伝い。管内で生産されている花きが多数使用され会場を華やかに飾り、訪れた方々を花々がお出迎えしました。



コチョウラン、トルコギキョウ、タリアなど



・目次

- 6 第26回通常総代会
- 8 地区別JA座談会Q&A
- 16 ほっとトピックス
- 18 畜産部だより
- 22 頭の体操

頑張る人には福が来る
がしぼり屋
NO. 63



横山 洋一さん



宮崎市生目でマンゴー栽培を行う、マンゴー部会部会長の横山洋一さん(45)。

完熟マンゴー『太陽のタマゴ』が25周年を迎える記念の年となります。部会としてもタマゴ率を上げ、素晴らしいブランドをJ A宮崎中央から多くの消費者へお届けできるよう、今年も管理や収穫と忙しい時期を迎えています。

今年は部会の新たな取組みとして、部会員、J A指導員が集まり定例会を行っています。毎月1回、部会員のハウスに集まり、その時期に適した栽培について検討します。

始めたきっかけとしてはコロ

ナの影響から現場での勉強会がなかなか実施できていなかったことにあります。数年で栽培技術は進歩しており、その技術を部会員全員で共有、そして技術力を向上、J A宮崎中央産のマンゴーの収量及び品質アップにつなげます。

定例会の1回目は3月に横山さんのハウスで行われ、20人の生産者が集まりました。今後、出荷時期、収穫後の樹勢回復、授粉、摘果期など、年間を通しての情報交換を計画しているそうです。

また、部会では昨年から「タマゴキング」という称号の決定を始めました。年間で太陽のタマゴ出荷率が多い生産者に贈られるそうで、個人でも頑張りが評価されます。今年は既に糖度の平均も高く、現在(4月末)の太陽のタマゴ出荷率は例年に比べて高いとのこと。

横山さんは「贈り物にはぜひ完熟マンゴーを！お盆前までは出荷を計画しているので少し早いお中元、この時期だからその贈答品としてよろしくお願ひします」と話します。部会は目標420トン、うち太陽のタマゴ出荷率3割を目指して頑張ります。

自己改革について

1. 「農業者の所得増大」と「農業生産の拡大」への挑戦

販売

1 契約的取引の拡大と有利販売対策

- ファン拡大事業による管内農産物のPR活動強化
 - 消費地量販店での宣伝販売回数
 - 年間：67回（関東58回・関西6回・中京2回・九州1回）
 - ※デジタルサイネージによる推奨販売
- 直売所の販売強化とイベント実施による集客力向上
 - 式部の里 販売高（R4年2月～R5年1月）年間：3億849万円
 - 直売所イベント実施回数 年間：31回
- 品目の提案取組み
 - 市場・消費者ニーズの品目取組み（馬鈴薯、パプリカ、甘藷紅はるか、里芋、にんじん、高菜）
- 経費抑制及び効率的輸送の取組み
 - 海上コンテナ・JRコンテナの利用拡大（青果物県内JAグループ コンテナ利用シェア91%）

- 営業販売専門部署による販売強化
 - 市場・販売先との年間販売戦略的商談回数
 - 年間：141回（内Web開催57回）
 - 営業販売担当による部会会合への参加（情勢報告及び部会要望の聞き取り）
 - 年間：257回（野菜129回、果樹74回、花卉54回）

契約取引の拡大（単位：ト）



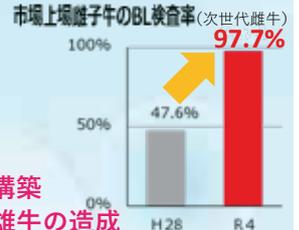
2 農畜産物ブランド強化対策

営農 畜産

- 宮崎県版GAPの拡大
 - 部会、品目の拡大
 - 部会：10部会（施設野菜7部会、露地野菜3部会）
 - 果樹・茶：8品目 花卉：1品目
- JGAPお茶生産者2名取得
- 早期米コシヒカリJA直接販売
 - R3年産：1,152ト
 - R4年産：1,215ト 前年度比 105%
- 産地交付金（水田活用直接支払交付金）を活用した新市場開拓米（輸出用米）の取組み
 - H30年取組み：45ト R4年取組み：100ト



- みやざき中央畜産物のブランド確立
 - コロナ感染対策を講じた新スタイル消費拡大PR
 - <非接触型ドライブスルー> 焼肉セット・伊勢海老・海産物・野菜のセット販売985セット
 - <食フェスタ予約販売> 焼肉セット1,300セット
 - <メディア合同企画> 親子でキャンプ飯グランプリ（管内産農畜産物を食材提供し、メディアを通じて広くPR）
 - Aコープとの地産地消活動
 - R3：222頭 R4：200頭
 - 特定疾病（BL）の無い母牛群の構築
 - 質・量・うまみを兼ね備えた種雄牛の造成
 - 主な管内生産種雄牛「富久竜」「第5安栄」「勝光美」「二刀流」「清正秀」「美久平」「鈴之助」「福之福」「忠紀女」
 - 品評会入賞牛保留対策事業
 - 令和4年度優等賞管内保留頭数 70頭（保留率88.6%）



組合員との徹底した話し合い

地区別JA座談会や支店代表者会及び組合員組織会等における組合員とJA役職員の徹底した話し合いの場の創出

令和4年度常勤役員出席回数 延べ362回

項目	内容	金額(税込)
1 事業分量配当	生産資材・肥料、飼料の供給金額に対し、2%の戻し 燃料・木質ペレットの供給数量に対し、1円/Kgの戻し 営農用重油の供給数量に対し、2.3円/Lの戻し・営農用軽油の供給数量に対し、3円/Lの戻し 営農用灯油の供給数量に対し、(干し大根) 対象期間：R4年10月1日～R5年1月31日) に対し、10円/Lの戻し	
2 価格高騰対策	生産資材・燃料 1) バラ配合飼料の供給実績に対し、5,000～6,000円/トンの戻し 2) 肥料 (R4年8月1日～10月31日) (税込) 152,814,919円 3) 飼料 (R4年10月1日～R5年1月31日) (税込) 36,854,983円 4) ピニール・PO (R4年7月1日～10月31日) (税込) 29,588,882円	
3 台風14号支援	生産資材・燃料 ● 重油の供給数量に対し、1.1円/Lの戻し ● 木質ペレットの供給数量に対し、5.5円/Lの戻し ● 肥料 (R4年4月1日～R5年1月31日) (税込) 16,902,668円	
① 事業分量配当の振込予定日: 令和5年5月8日(月)	1) 野菜苗・種苗 (税込) 8,804,530円 2) ピニール・PO (税込) 15,427,684円	① (税込) 115,920,754円 ② (税込) 236,161,452円 ③ (税込) 24,232,214円
② 価格高騰対策の関係	肥料・飼料・ピニール: 供給時値引済 燃料: 令和5年2月振込済 茶肥料: 令和5年4月振込予定	
③ 台風14号支援: 令和5年2月振込済		総額(税込) 376,314,420円

3 産地基盤の維持強化の取り組み

営農 畜産

- 国庫補助事業（産地パワーアップ事業他）
 - H28～R4 事業総額 257件 63億 3,483万円
- 施設園芸セーフティネット構築事業（重油、灯油の補てん事業）
 - 申請者数：1,759名 JAによる掛金立替：6億6,308万円
- 野菜価格安定事業
 - JAによる造成金立替：3億6,883万円
- 新規就農者利子補給実績（H28～R4年）
 - 青年等就農資金保証料補てん事業 83件 11,199千円
 - 新規就農者定着支援リース事業 82件 39,329千円
 - 農地利用促進事業 178件 23,402千円
 - 計 73,930千円

- 水田維持に向けたプロジェクト
 - 人・農地プランと連携した地域営農システム（話し合い強化型集落営農）の展開を軸とした「宮崎中央地域水田営農研究会」の活動
- 安全・安心 土壌分析による適正使用のための取組み
 - 土壌分析 3,904点 残留農薬分析 524点
- 労働力確保支援の一環として無料職業紹介所を開設し、求人者と求職者のマッチングを実施 マッチング件数：10件



- 施設園芸APハウス整備支援事業
 - H28～R4 124件（面積：1,963.6 a 事業総額：1,450,613千円）

●畜産クラスター事業活用による生産基盤拡充

R4年 機械導入事業：63件
牛舎建設：31件
事業費計：35,028万円

●生産基盤拡大加速化事業の活用

R4年 141件 494頭増頭

●直営センターの多面的活用

- 緊急時預かり（災害・入院・事故）
繁殖牛：7件 24頭
- 妊娠牛の牝下事業（管内農家の母牛更新支援）
牝下げ頭数：21頭
- 妊娠牛の成牛市場販売（家畜商組合協力事業）
販売頭数：9頭

●生産性向上への取組み

- 母牛・母豚の更新
- 分娩間隔の短縮
- 枝肉重量・肉質の向上
- 乳量・乳質の向上

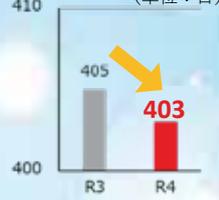
畜産入植団地（第2国富入植団地）の増頭経過（5戸）

（単位：繁殖牛頭数）



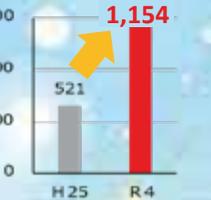
繁殖牛生産性向上への実施（分娩間隔の短縮）

（単位：日）



農家への支援活動（キャトル受入れ）

（単位：頭）



4 農業生産資材コスト抑制

●戸別配送の実施

●経済渉外（めぐみ）職員34名を各営農センターに配置し、戸別配送を行っています。

●使用残農薬及び農薬空容器の回収実施

●R4年6月実施（2年に1度の実施予定）

人数：401名
回収量：9,677kg
R6年6月に実施予定

●農業用ドローンを活用した農業支援活動

水稻防除 散布面積170.7ha（前年対比97.4%）
労働時間削減効果 約75%
農業用ハウス汚れ（被膜・藻類等）除去
散布面積1.55ha（前年対比142.2%）

●将来のスマート農業を見据えドローン飛行許可講習会の開催及び受託散布組合（23名）を設立

●令和4年度 講習会5回開催 受講者23名

●年末年始を除く祝祭日の営業等

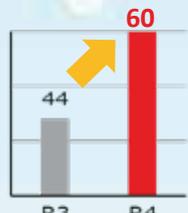
●各支店、年中無休体制にて営業を行っております。

高齢農家等への支援活動

▼ハウス展張支援（単位：戸）



▼子牛セリ市支援（単位：参加職員数）



●オリジナル商品による価格抑制

項目	商品名	従来品との価格抑制
① 肥料	施設、露地、果樹、水稻の元肥等	約3%～約23%
② 配合飼料	中央繁殖用	約3%
③ 農業用ビニール	ひなたシリーズ	約8%
④ 農業用PO	MIYAZAKI-1 PO	約8%

●令和4年度 生産資材価格の引き下げ実績

項目	対象品等	対策期間	条件・内容
各作物主要肥料の特別予約奨励	施設・露地・果樹・花卉	施設、露地、花卉、果樹の最必要期等に応じて実施	● 予約申込書記載及び需要品目に対し予約奨励の拡大に加え、更なる生産コスト対策として、期間限定店舗自己取りによる価格引下げ
飼料作肥料即売会	3品目	3月、5月、8月	● 予約注文取りまとめによる短期間実施のメリットを反映し、通常予約奨励1.5%から、窒素価肥料（若石灰）で約8%、配合肥料で約25%値引
乾牧草フェア	2銘柄	偶数月の第3月曜日から金曜日まで実施	● 乾牧草の安定供給オーツヘイ・ブルーグラスを中心に通常価格より約10%の値引
農薬（殺虫・殺菌剤）農薬の特別対策	全品目	2月～9月	● 期間内の予約注文に対し、1.5%から5%へ予約値引きの拡大 ● 大口対策としてケース購入以上で15%値引
園芸・果樹・花卉農薬キャンペーン	28品目 30規格	8月	● 期間限定による早期引取りのメリットを反映し、通常の予約奨励1.5%から最大約14%の値引
園芸・畜産資材キャンペーン	59品目 129規格	2月～3月、7月～9月	● 期間限定による特別価格（平均約14%値引）
冬季 畜産資材キャンペーン	6品目 16規格	12月～1月	● 期間限定による特別価格（平均約15%値引）
農業用ビニールPO	全品目	12月から翌年5月末の予約注文	● 早期予約注文に対し、 ・ 農業用ビニールで最大30%の値引 ・ 農業用POで最大20%の値引

肥料・農薬・飼料につきましては、取扱高又は数量に応じた、ランク別奨励及び店舗自己取り奨励を設定しております。その他品目におきましても価格対策に努め、生産コスト抑制に取り組んでおります。

5 地域の皆さまとともに

●食フェスタの開催

●宮崎市生目の杜運動公園にて3年ぶりの開催。農畜産物の販売や体験教室が事前予約となるなどコロナ前とは少し違った形での開催となりましたが、多くの方に来場いただきました。

●支店農業祭り

●各支店にてふれあい感謝祭を実施しました。コロナの影響もあり数年開催できませんでしたが、組合員の皆様へ日頃の感謝を込めて開催したところ、多数の来場をいただきました。

●准組合員向け広報誌

（はびすぷらす）の作成



総合

2. 『地域の活性化』への取組み

●食農教育の取組み

●保育園・小・中・高校生を対象に農作業の体験等を通じて「食」と「農」の大切さを伝える活動を行いました。



<保育園きゅうり収穫>



<高校生みそづくり>



<保育園芋ほり>



<小学校田植え>



<小学校お米収穫>



<高校生お茶入れ教室>

●JAによる地域活動記録



<保育園へ食育絵本の寄贈>



<年金友の会グラウンドゴルフ>



<女性部によるこんにゃく作り>



<青年部による子供食堂への食材提供>

第26回 通常総代会



出席者数 540人 本人出席 270人 書面議決 269人 委任状 1人



4月28日、第26回通常総代会をJA・AZMホールで開催しました。開会にあたり、栗原俊朗組合長が次の通り挨拶を申し上げました。「数年にわたって猛威を振った新型コロナウイルス感染症も落ち着きを見せ、3月からはマスクの着用も個人の判断が基本となり、5月からは季節性インフルエンザと同じ5類感染症に移行されます。このような状況を踏まえ、昨年度までは、代表のみの出席により書面議決書での開催でありましたが、本年度の総代会につきましては、4年ぶりに通常の開催ができることを役職員一同うれしく思っております。

また、JAを取り巻く環境は、昨今のウクライナ情勢等を背景とした生産資材等の価格高騰により、農家経営の継続が危ぶまれるほど危機的な状況となっております。この状況を回避するために、JA単独で対応できるものではない

ためJAグループ全体で国や県の選出国議員などに幾度も働きかけを行い、ご支援を頂いたところであります。

現在、日本では、食料安全保障の議論が始まっておりますが、現状では6割以上の食料を輸入しているのが現実であり、世界的な食糧不足が起これば国民は大変なことになります。

国民が必要とし消費する食料を国内で生産するためには、営農の継続が必要であります。生産資材等の価格が高騰しても農畜産物の価格には転嫁されていない状況にあり農業の衰退にも繋がるものと心配しております。

今後、適正な農畜産物価格になるよう国民にしっかりと理解してもらう必要があるため、国の議論に歩調を合わせJAグループ一体となって、運動を展開し国民の皆さまの意識醸成に努めてまいります。

県域JA構想については、昨年10月の理事会で「県域JA設立に向けて参加を前提に協議を進めること」について基本合意を行いました。その後も説明会や意見交換会などを通じて、新たに示された説明資料について説明をさせていただきました。今後は、更に県域JA設立推進協議会事務局を通じて意見交換や情報共有を行いながら、組合員の皆さまに判断していただく材料の提供を行ってまいります。

また、県域JA構想や2024年問題など農業・農協を取り巻く大きな課題が山積しておりますが、組合員の皆さまのご理解を頂きながら、これからも「one for all, all for one」「一人は万人のため、万人は一人のため」という協同組合の理念を決して忘れることなく組合員のために組合員のための農協、そして地域にしっかりと根差した地域の発展に貢献する農協を目指して、役職員一体となって全力で取り組んでまいります。」

議事は、福田誠議長（佐土原支店）のもと行われ、5議案が承認されました。

提出議案

議案第1号 第26年度（令和4年度）事業報告及び剰余金処分案の承認について
（報告事項）令和4年度貸借対照表、損益計算書、注記表及び附属明細書について

議案第2号 第27年度（令和5年度）事業計画及び関連事項の承認について

- 1) 第27年度（令和5年度）事業計画について
- 2) 賦課金の額、賦課方法、徴収時期及び徴収方法について
本年度は賦課しない。
- 3) 理事及び監事の報酬について
 - ①組合員の代表等で構成する「役員報酬審議会」において、諸情勢を検討して出された答申結果を踏まえ、令和5年度の理事の報酬については総額59,304千円とし、各理事の報酬額についてはその範囲内において理事会に一任する。
(理事24名)
 - ②組合員の代表等で構成する「役員報酬審議会」において、諸情勢を検討して出された答申結果を踏まえ、令和5年度の監事の報酬については総額15,450千円とし、各監事の報酬額についてはその範囲内において監事会に一任する。
(監事8名)

議案第3号 定款及び定款附属書の一部変更について

議案第4号 固定資産の取得について

次の固定資産を取得する。 (単位：千円)

施設名	金額	場所	備考
赤江支店	350,000	宮崎市大字恒久	
ファーマーズマーケット	1,500,000	宮崎市柏原	土地造成含む
胡瓜選果機	600,000	宮崎市田野町	令和6年度取得予定

議案第5号 国等の施策に基づく奨励金等の事務の委任について

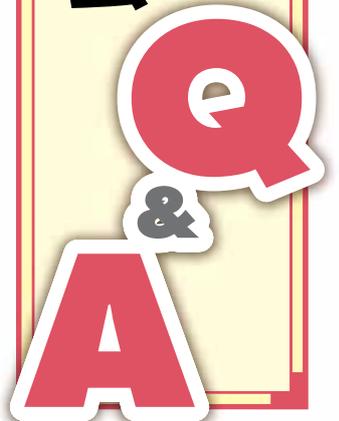
令和5年度中に国等の施策に基づき、農畜産物の生産、流通及び農用地等に関して、生産者が国等より支払いを受ける奨励金等(調整金、助成金一切を含む)の交付申請、請求及び受領に関する権限並びに返還に関する事務を組合に一任する。

附帯決議 本日の決議事項中、権利義務に関しない軽微な事項の修正及び法令、その他行政庁の処分又はこれに基づく指示による場合に必要なる字句の修正をなすことを理事会に一任する。

報告事項 JAバンク基本方針の変更について



令和5年 地区別 JA座談会



本店建設について

現在の検討状況と今後の方針について

令和元年7月に建設着工を目前に経済連との共同地区計画から離脱することを決定（計画の取り下げ）した直後、経営に大きな影響を与える環境変化が迫っていることが発覚したことにより経営改革実行を決定し、その一環として令和3年2月末日で10店舗の集約整備を行いました。現在も、早期警戒制度を含め様々な対応を迫られており、組合員の営農を永続的にサポートし続けていくためには引き続き経営改革の実践による経営基盤の強化が最優先課題であると認識しており、本店建設計画を進めていた時期とは大きく状況が変化しています。

経営改革実践において、固定資産取得については投資回収可能性の厳格化を図っており、本店だけでなくその他の施設整備についても今後の経営改革の進捗や効果等の動向を見ながら慎重な判断を行うこととしておりますし、本店建設に関しては、組合員の皆さまに理解を頂き店舗を再編した直後ということをお勧めすると早急な判断ができる状況ではないとも考えております。

現在は、店舗再編（集約）によって来客数が増え手狭になってしまったり老朽化が著しい店舗がありますので、まずは組合員の利用に支障のないよう、支店の店舗整備を優先して検討しておりますことをご理解ください。

今後も、整備の必要性や財務等あらゆる側面から検証し、総合的な判断により施設整備を検討して参ります。

本店建設にかかる積立金（固定資産取得積立金）について

固定資産取得積立金は、平成11年度の剰余金処分時に初めて設定し、以降5年間をかけて積み立てを行った経緯があります。当初は、本店建設を含め大型の固定資産投資が予定されておりましたので、それに伴う費用増加に対し経営の安定化を図ることを目的として積み立てを行ったところでした。

その後、様々な環境変化が当JAの将来の経営に大きな影響を与えることが判明したことから、その備えとしてまずは経営の健全化を図ることが最優先と考え、大型の固定資産取得を控え、収益力を向上するため事業の強化を行い、自己資本の増強に取り組んでいくところです。固定資産取得積立金の積み立て目的は前述のとおりですが、一方で自己資本を構成する重要な要素でありますので、積立金の取り崩しは自己資本比率の低下を招き当JAの体力低下につながってしまいます。そのようなことは積極的に行うべきではないと認識しておりますのでご理解ください。

旧本店建設予定地の現状と利活用方法について

令和元年にそれまで進めてきた本店建設を中止して以降は、引き続き維持管理を行っている状況です。利活用方法については、これまで宮崎市と協議を行ってきた金融店舗や資材店舗、葬祭場等の建設について提示してまいりましたが、当該地は「物流・工業拠点」という位置づけであり、これに合致しない施設であるため建設できないという結果でありました。協議をすすめた結果、ファーマーズマーケットについては検討可能となりましたので、現在内部協議を進めているところです。

支店等の整備（建て替え等）について

現在の検討状況について

第26回通常総代会の提出議案にありますように、現在は赤江支店の建て替えに向けた準備をしております。また、令和5年度には高岡支店と住吉支店の建て替えについても検討を進めることとしております。どの店舗も老朽化が進んでおり、利用者や職員の安全性や維持管理費との兼ね合い等を総合的に勘案し検討を進めております。

総代会資料に記載のないその他店舗の整備予定について

生目支店及び木花支店については整備の記載がありませんが、両支店とも老朽化しており、特に生目支店においては店舗再編による来客数の増加で利用者の皆さまにご不便をおかけしていることも認識しております。当JAの「施設整備等長期計画」では整備を計画しておりますので、今後も固定資産の取得基準に照らしながら整備時期等についても検討して参ります。

固定資産について投資回収が困難な施設が見受けられるが、固定資産取得の投資判断については、しっかり検討してほしい

固定資産の取得については、高額かつ長期的な活用になることが多いため、それぞれの資産を管理し、いかに効率的に使用するかが重要だと考えております。現在、取得・整備につきましましては、取得・整備の経緯、工事概要、事業費、またそれに係る圧縮財源、さらに審査資料として収益・費用の中長期シミュレーションなどの資料を使用し協議しております。今後も各会議体で慎重な協議を重ねた上で、取得・整備に向けて取組んで参ります。

「県域JA構想」について 合併の必要性について

当JAにおきましても70歳以上の正組合員が5割と高齢化が進んでおり非常に深刻な課題として認識しております。さらに昨今の世界情勢不安に起因する農業資材・飼料・燃料の高騰は、農家経営の継続性をも揺るがしかねない状況となっており、今後の離農者増加や就農者減少の懸念に追い打ちをかける事態となっております。

当JAは、永続的に農家をサポートし続けることを第一の目的として経営改革を実践しておりますが、先行きの見えない現在の環境も踏まえ、将来にわたって単独で今と同じように農家をサポートし続けることが可能かには疑問を感じざるを得ない状況であります。

このことから、まずは当JAが組合員と産地を守り続けるための一つの選択肢として、より大きな組織として県下JAグループの力を結集する「県域JA」という形についての検討に参加しているということをご理解ください。

合併の最終判断について

合併の最終判断については、令和5年8月の各JA理事会（同日同時刻）において、理事会としての最終判断を行い、全JAでの理事会で合併に関する合意が得られましたら10月の合併臨時総会（同日同時刻）において、正組合員の皆さまの議決により最終判断を仰ぐこととなります。その後、全JAの合併承認が得られましたら、令和6年4月1日に県域JA設立予定としております。

総会の意思決定手続きについて

当初の合併の意思決定は、「総代会」での意思決定を想定しておりましたが、組合員代表の皆さまとの意見交換におけるアンケート等におきまして、合併については「重要な判断となるため、総代だけではなく正組合員全員に問うべきではないか」との意見を受け、県内JA常勤理事等での協議により、合併に関する意思決定は、「総会」で行うことで決定されました。

この合併に関する意思決定は特別決議となり、正組合員の半数以上が出席（書面を含む）し、その議決権の3分の2以上の賛成により決定されます。

ただ、総会の開催となりますと、数千人規模となりその規模での会場の確保は困難であるため、基本的には、組合員代表の方（総代等）に総会会場への実出席をお願いし、多くの組合員の皆さま方には、書面での議決権行使をお願いすることで整理をしているところがあります。これは、すべての正組合員の皆さまのご判断をいただくというのを優先しての対応となりますので、ご理解ください。

（参考）

総会と総代会の意思決定の違い

・総代会：総代555名の決議（当JAが毎年開催する方式）

・総会：正組合員全員の決議

存続JAについて

今回の合併は、1つのJAを存続組合とする合併方式で行うこととされており、各JAの合併臨時総会ですべてのJAで承認された場合は、JA宮崎中央を存続組合とする合併を行うことで予定されております。

合併方式には、「新設JA合併方式」と「存続JA合併方式」の2種類の手続きがあります。

1つ目の新設JA合併方式とは、すべてのJAが解散して、新たに設立したJAが解散JAの財産および組合員を引き継ぐ方式です。2つ目の存続JA合併方式は、合併対象JAの一つが存続し、他のJAが解散して解散JAの財産および組合員を引き継ぐ方式であります。

今回の県域JA合併においては、認可申請等の合併事務負担が軽減され、よりスムーズな合併が可能となる「存続JA合併方式」を採用することとしております。また、他県の県域合併におきましても、直近ではこの方式が多く採用されております。

臨時総会で否決された場合はどうなるのか

県域JAは、県内の全13JAと連合会を1つの組織にすることを前提として検討を進めており、離脱があった場合の対応は検討しておりません。1つのJAでも離脱があった場合は、「組織整備委員会」（組合長や連合会会長等で構成）等において対応を協議することとしております。

他JAの動向について

県1JAは5JAありますが、その中で一定の年数が経過している沖繩については、事業総利益の減少率が本県13JA合計の減少率より小さくなっているということが令和3年11月の「県域JA構想に係る組合員代表者と

の意見交換会」の資料には示されており。ただし、県域JAに至った背景や理由が違うことを考慮すると、単純に参考にすることはできないと思われれます。

合併によってまた店舗統廃合があるのか

現在の県域JA構想協議においては、合併を理由とした店舗統廃合はないものとして検討がなされております。基本的には地域に軸足を置いた運営を目指しており、営農施設等含め現状のまま引き続きご利用いただけます。現在は、各JAでの経営改善に向けた取組みとして店舗再編を実施しており、一定程度の再編が進んでおります。ただ、県域JAとなった後の経営環境の変化への対応や事業展開の方針によっては、施設の再編等が必要になってくる可能性もあります。しかし、これは県域JAに限ったことではなく現在の各JAにおいても同様であることは、ご理解ください。

固定資産評価の違いについて

固定資産の評価については、地域間で差があり県域JAにあるJA宮崎中央は比較的評価の高い資産を保有していると予想されます。しかし、固定資産評価は所有している間は単なる価値のものさしであり、売却した際に初めて現金としてその価値が表面化するものです。そのため、各JAごとに固定資産の資産価値を示すことは、現実的に不可能であります。

合併後の損益計画は示されるのか

合併後の損益計画につきましては、合併を判断する数値的資料として非常に重要なものであります。現時点では、すべての試算ができていくわけはありませんが、県域JAでの取組みの着実な実践を行うことで、一定の

安定経営が図れる見込みとなっております。今後、さらなる精緻化・数値化を進め「合併経営計画書」が作成されることとなっております。最終の理事会、合併臨時総会に提示されますので、ご理解ください。

8月の理事会決議後の組合員説明はどのように行うのか

まずは、8月の各JA理事会において合併についての最終判断を行うこととなっておりますが、その合併の是非の結果と判断した理由等については理事会後に組合員に対する説明会を開催させていただく予定であります。

ファーマーズマーケット建設計画について

ファーマーズマーケットは、農家が生産・製造した新鮮で安全な農畜産物や加工品などを消費者に直接販売することによって、生産者と消費者を結ぶ地産地消の拠点を創出するものであるのみならず、管内農畜産物の新たな販売チャネル創出により販路拡大が可能となり、農家所得の向上につながるものとしてJA宮崎中央の「めだま」となる独自事業という位置づけでかねてより幾度も検討されてきたものであります。何度か実現に向けた取り組みを行いました。設置場所等の関係で行政の許可が下りなかったりと、実現に至ることができておりません。

今般、旧本店建設予定地の利活用を検討するなかで、宮崎市との協議も重ねながら建設可能と思われる候補として再度検討を行っております。ファーマーズマーケットは、地産地消や管内農畜産物の発信拠点として、また当JAの新たな収益確保事業として引き続き

実現化に向けた検討を行って参ります。

ファーマーズマーケットとはどのようなものなのか、また、式部の里との違いは何か

一般的には、売れるモノを生産販売するものが「ファーマーズマーケット」とされており、生産したモノを販売するものが「直売所」と区別されております。

当JAの式部の里は、出荷者で構成する協議体が存在せず出荷登録者それぞれが独自の基準で品を定め出品しており、いわゆる生産したモノを販売するという形態であり、地域の交流の場を提供するという実態もあるため直売所としております。

これに対し、ファーマーズマーケットは規模や機能を拡大しニーズに合うものを戦略的に生産し、最終的には管内農畜産物を広い地域や商圏に発信していくことを目的としています。

ファーマーズマーケットができれば、地域の活性化にもつながるので、ぜひ進めてほしい。

ファーマーズマーケットは、地産地消の代表的な取り組みとして全国的に広がっており、また、生産者と消費者を結びつけ品質などの信頼性を高めることができるものであります。これにより農業生産の拡大や所得増大、地域の活性化につながるものとして非常に期待されるものでありますので、皆さまの期待にお応えできるよう前向きに検討を進めてまいります。

場所についてはどこを予定し、規模等はどうなのかな。また、採算は合うのか。

建設場所につきましては、旧本店建設予定地（宮崎市生目 柏原）であり具体的には、

これから検討を進めていく予定であります。

昨年度、JA全中のコンサルに全国のファーマーズマーケットの事例を基に事業計画等の作成を依頼し、そこで示された売場面積1,000㎡での収支計画を基準として検討をしている段階です。直近では、2月にファーマーズマーケット検討プロジェクトを立ち上げ、JA全中コンサルより示された内容を再度検証し、その結果を3月の理事会で協議を行ったという状況です。

今後は、収支面についてもさらに検証を加えて参りますが、行政の許可等クリアすべき条件もありますので、さまざまな観点から検討し具体化を行って参ります。

建設予定時期はいつ頃になるのか

今後の理事会での検討状況や行政等の手続きによって建設時期は決定されることとなりますが、農産物の品揃えが多い春・秋で検討をしていく予定であります。

営農部

営農指導員には、栽培状況や病害虫発生の有無など現地に来てアドバイスしていただくことが、事務処理など巡回以外の業務が多く、顔を合わすことが少なく感じる。巡回業務がしやすい職場環境を作っていただきたい。

また、人員不足の中、増員は厳しいとは思いますが、熟練指導員からのノウハウの継承および育成をしっかりおこなってもらい、組合員の営農支援に努めてもらいたい。（高岡・国富）

「営農指導」は、組合員接点の最前線、JA事業運営の根幹だと考えております。現場へ出向くことが指導業務の基本であり、地域に軸足を置いた運営、巡回指導に注力できる指導体制の構築に努めます。また営農指導員

は育成までに長い時間を要しますので、新人・後継指導員の教育・確保を行いながら質の高い営農支援体制の維持に努めて参ります。

担い手の育成に関して、新規就農者へは国や県の補助金等が充実している印象があるが、親元就農の後継者に関しては施設等の維持・修繕を図りたくても支援が十分とは言えずスムーズな経営移譲の障壁の一つとなっている。

また、生産コストが上昇するなど、就農環境が大変厳しい中ではあるが、今後の担い手が経営基盤をしっかりと築けるよう対策をお願いしたい。（南宮崎）

産地の維持・発展には、新規就農者に限らず、親元就農の後継者や既存農家の持続的経営が必要不可欠と考えておりますので、国・県の農業政策を注視しながら必要に応じて補助事業の拡充や運用改善等の要請活動に努めたいと考えております。

また、めまぐるしく変化する就農環境ではありますが、将来を支える担い手の経営基盤安定に資するため、研修制度の充実や指導力の強化による生産性の向上に引き続き取り組んで参ります。

今後の米穀情勢について教えていただきたい。（宮崎・南宮崎・国富）

全国的な作付動向については、主食用米の作付面積は全ての地域で減少し、前年実績（130.3万ha）から5.2万haの減少で、125.1万haとなっております。また、戦略作物等については、飼料用米・WCS用稲・加工用米等が増加となりました。全国的な需給見通しについては、令和5年産の需給均衡には前年と同程度の作付とする見方を示しております。一方で宮崎県としては国が示す主食用米作付面積の目安を毎年下回っていることから、前年主食用米作付面積のおよそ



125%という作付目安を周知させていただきました。

昨年もコロナウイルス感染拡大の影響を受け、過剰在庫により前年産と比べて更に米価が下落し、今後も厳しい状況が続くことが懸念されますが、生産コスト上昇による厳しい生産現場の声を訴え、適正な米価となるよう理解を求めて参ります。

また、近年需要拡大が見直されている米粉用米については、米消費拡大の一環となるよう取引先や消費者に需要喚起を呼びかけて参ります。

水稲作付が毎年減少している中で、JAのライスセンター運営は今後どのようなか教えていただきたい。（宮崎・佐土原）

管内の水稲作付は減少の一途をたどっており、JAライスセンターの取扱高も年々減少しております。施設の老朽化等の影響もあり厳しい運営状況となっておりますが、ライスセンターを利用してはいる組合員の方々、地域の穀摺り業組合と一緒に今後のあり方について協議して参ります。

農業の現場では労働者の不足を感じています。したがって外国人技能実習制度についても、農家の受け入れが容易で、長期間に渡り人材の確保ができる制度となるよう見直しをお願いしたい。(宮崎)

現在、無料職業事業の運営や民間人材サービス会社との業務提携による労働力確保支援に取り組んでおり、外国人技能実習生等に関してもJA宮崎中央会との連携のもと、相談機能を担っております。

今後雇用環境の変化にしっかりと対応できる支援の充実強化や要請活動に関係機関・団体とともに取り組んで参ります。

ジエイエイファーム

野菜苗の日曜日出荷体制を改善検討していただきたい。定植作業は重労働な作業であり、子供や親戚など家族で行う場合が殆どである為、休日に行うことが多い。水稲苗とは違って、苗運搬作業は自分たちで行うことと、従業員に迷惑をかけるないようにするため、是非ともお願いしたい。(南宮崎・国富)

野菜苗出荷最盛期(8、9、10月 1、2、3月)は、休業日なしで出荷対応を行うように致しました。但し、日曜日は自己取りのみとなります。

※4月〜7月、11月、12月は通常期となり、日曜、祝祭日は休業日とさせて頂きます。

水稲苗が短く、窓口に行ったところ、交換対応頂き、非常に感謝している。しかし、なぜ短かったのか?また、緊張感を持って苗を作って頂きたい。(南宮崎)

早期水稲の苗において、灌水管理を要因として一部で苗丈の短い苗がありました。(南宮崎管内)

現時点で稲の生育には特に問題は発生して

いないことを確認しております。

南宮崎管内では一部をジエイエイファーム以外に委託しておりますので、次年度に向け改善策を含め良質苗管理に向け指導を行う参ります。

子会社の経営状況を見ると、ジエイエイファームだけが赤字となっている。原因は何なのか。(宮崎・佐土原・高岡・国富)

本年度は、事業利益が約6千万円の赤字となっており。内容としまして、次世代施設園芸団地事業で約4千万円、施設貸借事業(入植団地)で約2千万円となっております。また、育苗事業についても、材料費や労務費などコストが増加しております。

現在、JA中央会へも経営改善に向け相談しており、併せて、関係部署によるプロジェクト検討及び理事代表を構成員とする、経営改善委員会を立ち上げ、抜本的な改善に向け8月を目標に改善策を整理しております。

販売部

生産コストは上昇しているが、販売価格は上がらない。何か対策があれば教えていただきたい。(宮崎・南宮崎)

青果物は需給バランスによる時価相場で取引されるため、希望通りの販売価格にならないのが実情であります。また、生産コストの高止まりが農家経営に及ぼしている影響については、今後も取引先へ強く理解を求めて参ります。さらに、販売価格への転嫁は単県で実現できるものではないため、引き続き国への要請活動に取り組んで参ります。

共選が増えてくると滞果の心配がある。令和6年に胡瓜の選果機の入替計画があるが、またもう一機も更新の時期がくるので、速やかな対応、対策をしていただきたい。(高岡)

年末年始や最盛期においては選果滞果が発生し心配をおかけしております。また、機械不具合による部品調達や人員確保も重要課題となっておりますが、スムーズな選果処理が行えるよう努めて参ります。

今後の選果機更新についても、補助事業で導入できるよう部会や関係機関と取り組んで参ります。

座談会資料の29ページの事業計画の中で、野菜の中に加工野菜とありますが、数量的には前年度より増加しているのに金額が下がっているが、数字の内訳を教えてください。また戦略がJAの方から見えてこない。収支等、経営の指針を現場にも情報を頂けるとありがたい。(宮崎)

○加工野菜取扱目

加工甘藷、加工大根、加工高菜が主な品目になります。この主品目の取組数量の増加により加工品全体の計画数量は増えておりますが、単価の低い品目である為、加工品目全体の計画金額が前年を下回っております。

(計画数量:加工甘藷1,186t、加工大根700t、加工高菜481t)

様々な品目の中で、それぞれの加工野菜に対する販売先はどこであるかを、支部や青年部の役員等にも配布して、盟友全員または露地作対象の方に配布するの相談させて頂き、現状の情報を伝え、すぐに対応ができるようにして参ります。

「2024年問題」物流対策について聞きたい。(田野)

2024年問題の対策に関しては、先ずは各運送会社によるドライバーの時間外労働時間の上限規制への対策を図るべく、カーフェリーのフル活用による休憩時間(継続9時間以上)を厳守し、ドライバー不足対策と法令順守に取り組んでおります。それに伴うJA側の対策としては、中京以東への販売は4日目販売とし、各方面別の出発時間の厳守(分荷・出荷タイムスケジュール)をしており、更には消費地の配送先箇所数の削減対策として消費地物流拠点(SP)を活用した取り組みを進めております。

取引市場においても、スムーズな荷下しが可能となる体制整備として、市場内での待機時間の削減体制の構築を依頼しております。また、取引先重点化(取引市場の重点化によるパートナーシップの強化)を進め、販売ロット拡大による価格交渉力の向上と、配送面での有利性を高める取り組みを講じて参ります。

時代も進んでおり情報通信技術が発達してきている。青果物の荷受けシステムが自分のスマートフォンからデータを送信して、JAで荷受けデータが受け取れるように簡略化出来れば、JAの業務も効率化が図れると思うので実現してほしい。(佐土原)

他県においては、生産者自身がスマートフォンで出荷情報を入力し、選果場端末にリアルタイムで入荷情報が反映する、というシステム等の導入事例があります。JA宮崎情報センターによると、外部機器の導入はセキュリティに大きな穴を開けることになり、サイバー攻撃のリスクを高めることから宮崎独自の開発が好ましいとの見方をしております。これには時間とコストを要しますので、

セキユリテイ対策を含め慎重に検討を進めて参ります。

青果物輸出の情勢について教えて欲しい。(宮崎)

輸出については各都道府県単位で取り組んでおります。国によって特色や食文化の違いもあることから、現在は宮崎県の海外コーデイナーを活用した輸出事業を展開しております。引き続き多品目での提案を行い拡大に努めて参ります。

経済部

肥料・飼料などの農業資材及び燃料価格が高騰しており農業経営は非常に厳しい状況にある。今後、JAとしてどのような取組みを考えているのか教えてほしい。(宮崎・南宮崎・田野・高岡・国富)

ロシア・ウクライナ侵攻による燃料価格や穀物相場の上昇及び農業資材の原料・原体の多くを所有する中国の国内需要を優先する政策等を主要因に、海外原料に依存する肥料・飼料をはじめ燃料価格など、今後も高値で推移する事が確実視され、農業を取り巻く環境は引き続き非常に厳しいと予想されます。

令和5年度は、指導部門との連携と(株)アグリプラスによる仕入交渉のもと、継続したJAオリジナル商品の推進強化や肥料・飼料・農業・農業用ビニール・PO・園芸畜産資材など、予約購買に特化した各分野におけるキャンペーンを実施しております。特に、JAオリジナル農業用ビニール「ひなた」シリーズは、相次ぐ値上げ要請があるなかJA独自品目の特性を活かし予約価格の改定を行わず据え置き価格で提供、粗飼料(乾牧草)については、期間を定めた自己取り方式による供給を実施し特別価格の設定と安定供給を図っております。

また、前例にない価格となった肥料については、営農関連部門と(株)アグリプラスが県内地域資源である畜産副産物や堆肥(鶏糞・豚糞)を活用した野菜・果樹花卉・水稻・茶など各作物に使用する低コスト肥料の導入に向け、関連会社・系統組織と検討を重ね試験を始めております。

燃料部門では、事業分量配当及び系統組織との連携による価格高騰対策に加え、燃油セーフティネット事業の生産者負担金の立替えを行いました。

今後も(株)アグリプラスと連携を図り、情報範囲を拡げた的確な判断と幅広い交渉のもと生産コスト抑制対策の強化に加え、国政等への更なる価格対策を要請して参ります。

生産資材キャンペーンについて、対象商品を増やし少量からの購入も対象にしてほしい。また、早めの案内をお願いしたい。(南宮崎・国富)

生産資材キャンペーンについては、飼料作肥料・農業全般・園芸畜産資材など主要ほぼ全品目を対象として実施しています。今後も対象商品の維持・拡大に向け、指導部門・経済渉外担当者との情報共有やアグリプラスと連携のもとできる限りの価格対策に努めるとともに、経済渉外担当者を中心とした予約推進を図りキャンペーンの周知活動を強化して参ります。また、これまで以上の価格対策の為に組合員皆様の予約注文が不可欠でありますので、担当職員が伺いましたら是非ともご注文をお願い致します。

なお、現在のキャンペーンにおいても1袋・1箱から値引き対象としておりますので、ご利用下さい。今後も組合員皆様の生産コスト抑制に取り組んで参ります。

総代会資料78ページ・座談会資料33ページに令和5年度の購買事業供給高(生産資材)が記載されているが、ビニールの事業計画が示されていないのはなぜか。(南宮崎)

これまで経済課(生産資材)で行って参りましたビニール供給に係る事務を令和5年度より業務の集約・効率化を図るためビニール加工事業に移行しましたので、生産資材の令和5年度事業計画は表記なしとなっております。なお、ビニール加工事業においては、加工収益・費用を管理する事業であることから、これまで通り加工収支の計画を示しております。来年度以降のビニール供給高の事業実績・計画の記載方法については今後検討いたします。

令和5年度のビニール供給高は(493,850千円)を計画しております。

昨年の台風14号の被害により注文したビニールの納品遅れがあったと聞いた。今後、迅速な対応をして頂きたい。(国富)

加工場はそれぞれ担当する地域があり、国富支店は南ビニール加工場が基本となります。南ビニール加工場が稼働できない場合は他の加工場へ依頼することも可能ですが、担当地域分の製造が終了してから対応となります。昨年度の台風14号後の対応については、担当職員と従業員による懸命な加工に努めましたが、南ビニール加工場の停電もあり一部製品の納品にバラつきが生じました。

今後の自然災害等の緊急時対応については、南・北ビニール加工場と関係部署の情報共有と受注・加工体制の強化とともに、災害時に備えた業務提携先である熊本県の関連会社2社と密な連携を図り、一刻も早い復旧対応に努めて参ります。

農機の修理や整備に時間がかかっているため、OBなどを経験者を雇用するなど増員し早く対応して欲しい。(南宮崎・田野)

出向く出張整備をはじめ繁忙期に備えた格納点検及び整備会の実施等に努めておりますが、農繁期及び整備時間帯によっては混み合い、対応が遅れることがありますのでご理解ください。現在、整備担当のOB職員は管内5名雇用していますが、整備士の高齢化が進み人員の確保と更なる作業の効率化が必要となっております。今後も、継続的な整備担当者募集とともに、系統組織・メーカー及び支店間連携を強化し、応援・整備体制の拡充と整備力向上に努めて参ります。

農機の修理工賃は1時間いくらか。業者と比べどうなのか。また、請求書には総額しか記載されていないので、明細表があれば配布してほしい。(南宮崎)

農業機械の整備料金は1時間7千円となっております。商系特有の戦略により個人差はありますが商社よりも安く提供しているとの情報があります。なお、明細表の配布については、ご要望に応じた対応ができるようになります。

軽油の500Lタンクを設置しているが、ガソリンスタンドでキャンペーンを行っている際に店頭のみが対象で配達対象外であった。配達は組合員の利用が多く、利用量も多い為対象にしてもらいたい。(南宮崎)

軽油等の特売キャンペーンは、配送に関わる労働力や人件費の削減及び業務の効率化等を価格に反映し実施しております。また、燃料配送の際は、配送料は頂いておりませんので、ご理解のほどよろしく申し上げます。

他社のガソリンスタンドに比べガソリン価格がかなり高いと思う。なぜこんなに価格の差がでるのか。

(宮崎・南宮崎・佐土原・国富)

日頃よりJASSSのご利用誠にありがとうございます。JAG崎中央管内のガソリン等の価格については、燃料販売に特化した低コストで運営するSSとの競争によって価格差が生じております。JASSSにおいては、洗車・タイヤ交換や軽整備及び営農用燃料等の配送など各支店において組合員へサービスが提供できる体制のもと管内統一した適正価格を設けています。しかしながら、組合員皆様から競合店に対抗できる魅力ある燃料価格の提供を農業経営の負担軽減を含め数多く求められています。現在、これまでのイベント・キャンペーン等の見直しや更なるサービス向上と継続した事業経営を考慮した積極的な価格対策の早期実現に向けて検討しておりますので、内容が決まり次第お知らせ致します。

令和4年度の組合員支援対策の内容について教えてほしい。

(宮崎・南宮崎)

生産資材・燃料の高騰など過去に経験した事のない農業情勢にあるなか、組合員皆様のご理解とご協力を頂き、総合事業において計画以上の実績をあげる事が出来ましたので、非常に厳しい局面にあります。農業経営を考慮し、組合員支援対策として事業分量配当を予定しております。

また、世界情勢の影響を大きく受け価格が急騰しました肥料・飼料・農業用ビニール及び営農用燃料等については、従来の価格対策に加え、営農関連部門とアグリプラスの連携により、大口仕入れの実施等による特別予約価格の設定や系統組織とともに支援対策を実施致しました。

昨年の台風14号の際に、多くのハウス加温機が被害に遭った。JAについては休日対応を行っていたが、農業機械の発注先である経済連においても被害が大きく不測の事態には対応できるように対策してほしい。

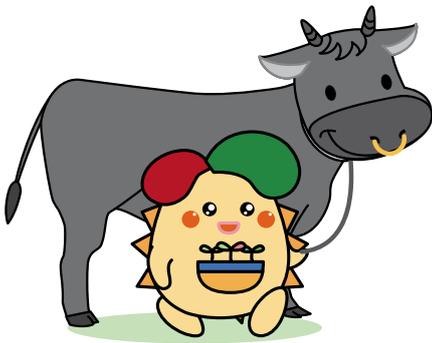
(国富)

令和4年度の台風14号を教訓に、経済連及びメーカーと連携強化のもと状況に応じた連絡・人員体制をはじめ予想される部品等の在庫管理や点検修理など台風経過後の被害時に対応できる体制構築を図り迅速な営農再開に向け努めて参ります。併せて、農業機械の浸水時の対応など台風シーズン前の事前周知を広告等を作成し、組合員の皆様へ周知を図って参ります。

資材窓口で購入に行った際に価格を聞くが、すぐに返答が無い。広報誌「めぐみ」やJAのホームページに資材価格表を掲載したり、燃油価格の連絡もメール等で送付してもらえれば、ペーパーレス化にもなるのではないかと。

(宮崎)

インターネットサービスが進み、若い組合員を中心にSNSを活用した情報発信をしてほしいと以前より多くのご要望を頂いております。



これまで、ガソリン・灯油・軽油については、メール配信による価格通知を行っておりますが、セキュリティの関係もあり新規登録ができない状況であることを踏まえ、現在、燃料価格の配信と併せて生産資材キャンペーンなど経済事業の主な情報提供をライン(LINE)による発信の検討を進めています。情報内容の条件・頻度・方法など取組項目を協議・整理し早期実現に努めて参ります。

アグリプラス

JAもスマート農業に取り組んでいるが、事業内容を教えてください。

(田野)

ドローンによる農業散布及びハウス屋根への遮熱・遮光剤・汚れ除去剤の散布を行っております。

農業散布については、水稲及び甘藷・大根で実施しております。また、果樹への散布試験に現在取組んでおります。なお、無人航空機による散布登録農業であれば全て防除可能です。

散布料金は、農薬料金別途で10a当たり2,000円(税別)、ハウスへの散布料金は、薬剤別途で10a当たり27,000円(税別)となっております。また、ドローン技能認定資格取得講習会も実施しております。

アグリプラスがインターネット販売に取り組んでいるが、事業内容を教えてください。

(南宮崎)

令和5年3月1日より開始致しました。販売品目はJAG崎中央の販売数量上位に入る、施設野菜・果樹・露地野菜を中心に登録のある約160品目(毒劇物・水稲農薬除く)です。※随時追加していく予定です。

決済方法もクレジットカード決済・コンビニ・銀行・スマホ決済が利用できます。販売価格については、他社インターネット

価格を調査し設定しており、品目によっても異なりますが、JAG崎中央で購入できる最安値とほぼ同等の価格となっております。

畜産部

管内家畜人工師の担い手に関して今後どの様な考えを持っているのか。5年10後を見据えた対応をお願いしたい。

(南宮崎)

管内家畜人工授精師については、宮崎中央改良協会(家畜人工授精師組合)と連携して進めて参ります。

優良雌牛確保対策事業について対象種雄牛を限定した経緯を教えてください。

(国富)

優良雌牛確保対策事業の種雄牛二刀流については、枝肉成績が良好であり全国的に注目度が高まっております。また、令和5年度のセリ市出場頭数が50%以上超えることから市場活性化と繁殖母牛の更新の為に事業を始めました。

金融部

今後、統廃合店舗のATMはどうなるのか。

(南宮崎)

ATMについてはキャッシュレス化の流れに伴い減少傾向にあります。今後は地域の意向を踏まえながら長期的な視点で対応を検討して参ります。また、機械の更新や支店用地の売却の場合には、地域の役員や支店の方と話し合いを重ねて参ります。

年金友の会について、会員全員に平等な取り組みをお願いしたい。

(南宮崎)

新型コロナウイルス感染症の影響で、様々なイベントの中止を余儀なくされたことにつ

きましてお詫び申し上げます。

今後は、スポーツイベントに加え、スマホ教室や総会等、会員様全員に喜んでいただける取り組みを実施して参りますので、引き続きよろしくお願い致します。

共済部

共済事業の新契約の計画が、前年と比べ減少しているのはなぜか。 (宮崎)

共済事業については、不祥事防止対策や農水省からの指導もあり、推進体制の見直しを図りました。新契約高は前年比減少となりますが、短期共済や保全強化に取組み、事業利益の確保に努めて参ります。

3月の報道番組でJA共済の不適切な推進が行われていたとあったが、宮崎中央ではどうなのか。また職員のノルマはまだあるのか。 (南宮崎・田野)

報道にあった内容は、建物共済を新しい仕組みに変更し保障内容を良くするなどではなく、解約金を使い期間を延長することにより掛金を安く見せるというものであります。JA宮崎中央では、この様な「解約新規」を実績として認めることもなく、推進することもしません。現在、共済推進については、コンプライアンスを重視し、専門職の渉外担当者のみとなっております。

総務部

人事異動についてスペシャリストの育成をお願いしたい。 (宮崎)

人事制度には職員一人一人が能力とモチベーションを発揮できるように人事管理を行い、組織の成長に結びつける目的があります。当JAでは職員側から自由に発信できる機会として「自己申告書」の制度があります。その

中には異動の希望についてや今後学びたい事などの項目があります。この申告書は人事異動の参考とし人材育成にも役立てています。ただ、全ての職員の希望通りとはならないことは職員にも理解頂いていると考えています。また、令和4年度に「JA宮崎中央人材育成計画」を策定しました。今後はより具体的人材育成、キャリア育成に向け取組を進めていきたいと考えています。

畜産指導員の減少を懸念している。新人が補充されるとの事であるが即戦力とはいかないので、しっかりとした組織体制作りをお願いしたい。 (宮崎・南宮崎・田野・国富)

畜産部においては、令和5年度の人事異動で2名の増員と新卒採用職員4名の6名を配置しました。新人職員育成については、畜産部のみならずJA全体で取組み、畜産事業に貢献できる職員へと育成に注力して参ります。

プリエール

当初計画のあったプリエールの建設については是非とも実行していただきたい。プリエール花ヶ島や清武は距離があり不便である。宮崎西部地区の葬祭場として強く要望する。 (宮崎)

宮崎西部地区に葬祭場出店の強い要望があることは十分に理解しております。

組合員の皆様の要望を受けましてジェイエイ福祉では、過去に宮崎西部地区において建設候補地の選定を行いました。用途規制等により候補地の選定まで至らなかった経緯があります。今後も当該周辺地域の葬祭場の状況や費用対効果の検証を行いながら検討して参ります。

農業の求人をサポートします

令和5年度「宮崎市農業労働力確保支援事業」のお知らせ

求人に必要な経費を
最大30,000円
助成します
※対象経費が60,000円の場合

趣旨

収穫時期等の繁忙期や規模拡大に合わせた労働力を確保するため求人を行う農業者に対して、広告掲載費用の一部を助成します。

対象者

宮崎市内に在住し、市内で農業経営を行う農業者で以下に該当する者
①認定農業者 ②認定新規就農者

対象経費

有料職業紹介事業を活用するために必要な経費

補助率

対象経費の1/2以内 補助金額の上限は30,000円

事業期間

令和3年度～令和5年度
※今年度が最終年度となります。

募集期間

第1次募集 令和5年4月1日～令和5年8月31日
第2次募集 令和5年9月1日～令和6年2月28日
※補助金の枠には限りがありますので先着順となります。

その他

年度内2回まで申請が可能です

申請方法

本事業を希望される方は、補助金交付申請手続きが必要になります。
※求人広告の掲載を開始した後の申請は認められませんのでお気を付けてください。
有料職業紹介事業者から提示される「見積書」をご用意ください。
「所定の様式」を記入し、宮崎市農政企画課へご提出ください。
最寄りの総合支所農林建設課、地域センターでも受付できます。
※所定の様式は宮崎市ホームページからダウンロードできます。

問い合わせ

宮崎市農政部農政企画課担い手対策係

電話 0985-21-1785 ファクス 0985-44-0770

メール 15nousei@city.miyazaki.miyazaki.jp



営農指導課

植物生理について

・窒素は植物にとって最も重要な肥料成分の一つであり、植物体内の酵素やタンパク質などに含まれています。

又、各種のアミノ酸やタンパク質を構成する主要な成分なので実・葉・茎・根などの植物体全体の生育を促進する働きもあります。しかし、いくら生育を促進するからと言って多量に施用をしまうと、栄養成長が促進され植物の生長バランスを壊すこともあり、過度な施用量を使う事が重要です。現に施設栽培においては窒素欠乏症はあまりありませんが、窒素過剰症は稀に発生する圃場があります。しかしながら、窒素をうまく施用できれば植物を制御する事が可能であると考えられます。

果菜類は特に収穫量が増える時期は、収穫物が窒素成分を多く持ち出す事から、定期的に窒素成分の補給を行いたいです。

早期水稲

移植後の概要

今年の田植え最盛期は平年並みの3月26日となりました。本年は、活着が始まる頃より好天が続ぎ、水温・地温が高くなったことにより、生育はやや早い状況。4月20日の生育調査結果では、葉齢は平年より進んでおり、茎数は平年並み、草丈は平年並みとなっています。（※葉齢：葉の枚数、茎数：分けつの本数）

水管理

中干し後は間断かん水（3〜5日おきに水を入れる）又は飽水管理（足跡に水が残る程度）を心がけましょう。ただし穂肥は水を入れてから行います。また幼穂形成期〜開花期は、稲の一生の中で最も水が必要な時期ですので水を切らさないように湛水し、その後は間断かん水で最後まで根を健全に保ち登熟向上を図りましょう。

除草

雑草の種類や大きさによって除草剤を選択しましょう。また、除草剤の種類によって使用方法が異なりますので、詳しいことは最寄りのJJAもしくは普及センターへお問い合わせください。

穂肥

①穂肥の時期：コシヒカリは出穂15〜20日前です。平均的な株の最も長い茎を株元から引き抜き幼穂を確認します。コシヒカリは幼穂の長さが1cmほどあれば穂肥の適期です。

②穂肥の量：施用量は「カラスケール」等を使用して判断して下さい。雨後や朝露が残っている時の施用はなるべく避けましょ

農産指導課

う。

※早期一発くんについて

早期一発くんには基肥に加え、穂肥分の窒素も含まれており、施肥が1回で済むように製造されていますので、穂肥をする必要はありません。

防除

7月	6月	
	上	中
カメムシ	出穂 カメムシ	いもち病・ 紋枯病
	スタークル液剤10 (10000倍150L) 又はスタークル粉剤 DL(3kg)	ダブルカットバリダ フロアブル (10000倍150L) ビームエイトスター クルソル

動噴等を持たない方は幼穂形成期に穂いもち・紋枯病の対策として「オリブライト250G」の施用が効果的です。使用量は10a当たり250g。使用時期が収穫45日前までですので、散布時期にご注意ください。

普通期水稲

近年では、6月上旬までに移植したヒノヒカリは、気温の高い時期に出穂するため、登熟が不完全となり乳白米、心白米の発生により下位等級の割合が高くなっています。田植時期を6月20日以降に遅らせて品質向上に努めましょう。

田植え

条間30cm×株間17〜18cm植えて、坪当たり60株を確保しましょう。

病害虫防除

葉いもち・ウンカ類・コブノメイガ対策として、サンスパイク箱粒剤を苗箱に施用し病害虫防除の初期予防対策を実施しましょう。ついで苗は、いもち病の発生原因となりますので必ず取り除いて下さい。

水管理

田植えから7日間は深水（水深4〜5cm）にして、根の活着を促します。根が活着したら、水温と地温を上げるため浅水（水深1〜2cm）にして分けつを促しましょう。

飼料用イネ

周囲に主食米（ヒノヒカリ等）やビニールハウスが隣接している場合は、必ず病害虫防除を実施して下さい。近年、飼料用イネからのウンカ・コブノメイガ・カメムシの飛来により、主食米への被害が多数発生しております。畦畔管理を徹底し、出穂前後の2週間は畦畔の草刈りは控えましょう。

また、隣接しているビニールハウスにはカメムシやアザミウマ、ヨコバイの進入が懸念されますので病害虫防除を徹底しましょう。

ウンカ・コブノメイガ対策

方法	薬剤名	使用量
箱施薬 （いもち病・ニカメイチュウ・コブノメイガ・ウンカ類対策）	デジタルパウアー箱粒剤	50g/箱

カメムシ対策

方法	薬剤名	使用量
本田防除 （出穂期以降）	スタークル液剤10	10000倍 150L

※詳しい内容は飼料用イネ栽培こよみを参照して下さい。

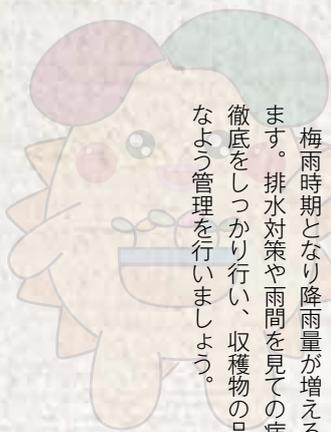
施設・露地園芸

【6月の栽培管理について】

（施設園芸）
6月に入ると本格的な梅雨時期となります。当然、日射量も減り光合成量が少なくなることで予想されますので、着果負担軽減の対策を早めに行い草勢維持に努めましょう。

（露地野菜）

梅雨時期となり降雨量が増える時期となります。排水対策や雨間を見ての病害虫防除の徹底をしっかりと行い、収穫物の品質が低下しないよう管理を行いましょ。



4月13日 太陽のタマゴ 解禁!



マンゴー部会役員の皆さま

全国の市場で完熟マンゴー『太陽のタマゴ』が解禁となりました。JA宮崎中央産完熟マンゴーも毎日たくさん出荷され、県内のみならず全国へ出荷されています。

解禁日の宮崎中央卸売市場ではJA宮崎中央産『太陽のタマゴ』5L 1玉25万円の価格がつかれました。がんばり屋（本誌3ページ）でも掲載していますが、今年は『太陽のタマゴ』25周年です。

完熟マンゴーは5～6月に出荷ピークとなり、8月頃まで出荷が行われます。オンラインショップ「てげうま産直便」で販売していますのでぜひチェックしてみてください。



4月5日 新茶の季節を前に 役員巡回

JA役職員による茶園巡回が行われました。今年の新茶の摘採前に、各支店の圃場を訪れ、生産者との意見交換を行いました。

生産者からは燃料高騰対策について、販売価格の引き上げ対応など、資材代高騰・販売に関して多くの意見が上がりました。消費者皆さんで毎日お茶を飲んで管内の茶生産を盛り上げましょう!



国富支店



高岡支店



南宮崎支店



田野支店

4月14日 支店で 農産物販売



14日、佐土原支店で農産物の販売を行いました。金融の年金感謝デーに合わせた催しであり、胡瓜、ナス、ズッキーニなどを販売し大好評でした。

きゅうり日本一の生産量 生産者知事を訪問

4月17日



4月19日「良いきゅうりの日」を前に県産きゅうりの消費拡大PRとして生産者らが県庁を訪問しました。

宮崎県きゅうり部会副会長である重永義明さんが代表して河野知事へきゅうりを手渡しました。

その後、試食も行われ、生産者は出荷最盛期3～5月であるきゅうりの更なるPRを知事へ要請。県内外での販売促進フェアも行われます。

4月16日

わちどんが村 式部の里

10周年!

いつもご利用
ありがとうございます



たくさんのご来場ありがとうございました



富田久男店長

久しぶりの活気あるイベントとなって嬉しかったです。今後も安心安全をお届けできる店舗づくりを目指し頑張りたいです

》せんぐまき《

4月16日、直売所「わちどんが村式部の里」10周年記念イベントを開催しました。季節のいちごや完熟マンゴーの特売の他、店内で購入した方に先着でたまごがお得に購入できる引換券が配られるなど、来店者を楽しませる企画も用意。新鮮な農産物を買求める来場者で大変賑わいました。

せんぐまきも行われ、開店から大勢の来店者であふれました。店外では地鶏の炭火焼きを販売、女性部によるぜんざいやバラ寿司のふるまいも行われ、長い列がで盛大でした。また完熟マンゴー『太陽のタマゴ』や宮崎牛焼き肉セット等が当たる抽選会も行いました。



おめでとうございます☆!

》抽選会《



やっと
買えました~!
おいしそう~♪



》たまご販売《



みんなの
笑顔が
あふれます

》女性部ふるまい《



》炭火焼き販売《

畜産部だより

4月期品評会

令和5年4月14日

【出場頭数】 雌子牛の部 31頭 去勢子牛の部 開催なし



雌子牛の部 児玉 洋子さん(南宮崎)

「ありす313」号(R4.7.11)父「二刀流」、母の父「忠美智晴」、母の祖父「美穂国」、母の母の祖父「安福久」

成績(敬称略、かっこは支店名)

【雌牛の部】 5席=矢野 勝美(国 富)
 2席=池尻 幸男(南宮崎) 6席=竹ノ内寛綱(田 野)
 3席=日高 和幸(綾) 7席=長友 和雄(国 富)
 4席=黒木 啓晴(国 富) 8席=小森 健(高 岡)

■4月期子牛セリ市

令和5年4月10日~11日

地区	性別	頭数	最高	最低	平均価格	kg単価
宮崎	雌	34	773,300	430,100	575,882	2,071
	去勢	36	882,200	491,700	750,444	2,451
南宮崎	雌	47	885,500	347,600	589,038	2,188
	去勢	79	937,200	399,300	725,485	2,472
田野	雌	44	793,100	381,700	596,100	2,207
	去勢	35	911,900	480,700	722,417	2,417
佐土原	雌	41	1,426,700	290,400	616,885	2,212
	去勢	49	938,300	414,700	743,196	2,422
高岡	雌	27	808,500	447,700	585,811	2,150
	去勢	47	881,100	536,800	760,755	2,455
国富	雌	85	951,500	409,200	602,179	2,167
	去勢	112	979,000	397,100	702,114	2,393
合計	雌	278	1,426,700	290,400	596,358	2,170
	去勢	358	979,000	397,100	727,438	2,431
	総体	636	1,426,700	290,400	670,142	2,322



住吉支店青年部による小学生お米学習として田植え体験が行われました。4月19日住吉小学校、20日住吉南小学校の5年生を対象とした学習で毎年行われています。

田んぼに初めて入る児童が多く、泥に苦戦しながらも楽しんでいました。手植えの後、機械での田植えも見学していました。

JAと地域交流の場をご紹介します



住吉南小学校



小学生の質問に答えました!



住吉小学校



みんなで頑張りました!

年金友の会からの
お知らせ

パークゴルフ大会

とき 4月6日

場所 青島パークゴルフ場



成績

名前(支店)【スコア】

Aコース
優勝 蛭原 英明さん(南宮崎)【76】
準優勝 藤元 駿さん(高岡)【78】
3位 長友 武久さん(南宮崎)【79】
4位 藤山 忠昭さん(田野)【81】
5位 川越 林さん(南宮崎)【84】

Bコース
優勝 加藤 辰彦さん(南宮崎)【70】
準優勝 横山 昇さん(佐土原)【72】
3位 根井 昇さん(佐土原)【75】
4位 岩浦 節子さん(南宮崎)【77】
5位 加藤ひろ子さん(南宮崎)【78】

Cコース
優勝 坂口 誠さん(南宮崎)【74】
準優勝 小西 貞夫さん(南宮崎)【75】
3位 石山 定利さん(南宮崎)【77】
4位 大幡 和光さん(南宮崎)【78】
5位 長友 千年さん(南宮崎)【80】

Dコース
優勝 大富 賢一さん(南宮崎)【76】
準優勝 濱砂 文吉さん(南宮崎)【77】
3位 鈴木 良雄さん(国富)【78】
4位 川島 猛さん(南宮崎)【78】
5位 錦田 四郎さん(高岡)【82】



女性部活動紹介



宮崎支店あくまき作りに挑戦!

4月13日、宮崎支店女性部役員8名はあくまき作り研修を行いました。戸高ちほ子さんから指導いただき、他の役員はあくまき初挑戦でした。特に竹の皮でもち米を包む作業は皆さん苦戦されたようです。あくまきは美味しく完成し、その後、共同購入研修会も行われました。

たくさん
出来上がりました☆



ドローン情報

3月、果樹園にて薬剤の散布が行われました。農業用ドローンを使った試験散布で地域の生産者も見学を行いました。

DJI製「T30」を使用した自動航行での散布に、見学者は様々なことを質問しており、大変興味を持たれている様子でした。

試験内容は、撮影用ドローンで圃場を2D撮影し、その写真をコンピューター解析して散布用ドローンに転送。その後、完全自動による航行で散布を行いました。

傾斜のある果樹園でも、傾斜に沿って散布が自動できるようになりました。【散布した農薬効果については、経過観察中です(5月上旬)】



技能認定の取得を目指してみませんか？

DJIドローン教習会コース

初心者教習…機種：T10、T30

期間：5日間 **324,500円(税込)**※登録料含む

拡張教習(MG-1、T20認定取得者対象)…機種：T10、T30

期間：1日 **66,000円(税込)**

教習場所 ・宮崎校：JA宮崎中央 家畜市場



教習日程 今後の日程につきましては、下記連絡先へお問合せください。
(株)アグリプラス ☎0985-89-4664(担当:加治屋)

(株)アグリプラス
からのお知らせ

インターネット販売をスタート!



(株)アグリプラスによる農薬のインターネット販売を令和5年3月1日より開始しました。施設野菜・果樹・露地野菜を中心に、登録のある約160品目(毒劇物、水稻農薬を除く)。販売する農薬は随時追加を予定しています。

インターネット
販売利用は
こちらから



<https://agriplus-shop.jp>

利用方法

初回購入の手順

①上記QRコードまたはURLからホームページを開く

②商品をカートに入れる

③注文手続きにすすむ

ログイン画面になるので、「アカウント作成」を行います。
※作成には①お名前②メールアドレス③パスワードの入力が必要です。

④お届け先・発送の確認

配送先の情報をご入力ください。

⑤お支払い方法の選択

お支払いには下記の決済方法がご利用いただけます。

①クレジットカード
(VISA / MasterCard / American Express / JCB)

②その他…コンビニ払い、paypay 等

選択したお支払い方法に沿って情報入力を行います。入力後「今すぐお支払い」を押してください。

特別価格キャンペーン



バスタ(2.2L)

1本(単品購入)

通常価格
10,093円(税込)

キャンペーン価格
9,493円(税込) △600円

6本(ケース購入)

通常価格
60,558円(税込)

キャンペーン価格
55,000円(税込) △5,558円



バスタ(10L)

1本(単品購入)

通常価格
40,155円(税込)

キャンペーン価格
37,500円(税込) △2,655円

2本(ケース購入)

通常価格
80,310円(税込)

キャンペーン価格
71,000円(税込) △9,310円

お問合せ先

- 電話およびアグリプラス店頭での注文販売は行いません。必ずHPからご注文ください。
 - お問合せにつきましては、HP内の「お問合わせフォーム」、または下記のお問合せ先をご利用下さい。
- 注文に関する内容…☎0985-89-4680 その他…☎0985-89-4681
(対応時間…平日9:00~16:00)

Instagram
始めました!



@AGRIPLUS_ONLINESHOP

インターネット販売について、商品について情報を公開!ぜひこちらもチェック!!

JA 弊祭 プリエール宮崎

初盆展示会のご案内

ご先祖様に礼を尽くし、感謝の心でお迎えをする大切な日。
ほのかな明かりが、偲ぶ思いを静かにともします。

開催日 5月27日(土)・28日(日)
場所 プリエール宮崎 清武ホール
時間 10:00~16:00

開催日 6月3日(土)・4日(日)
場所 プリエール宮崎 花ヶ島クリスタルホール
時間 10:00~16:00

当日にご来場された方に
粗品進呈!
更に当日ご成婚の方に
もう一つ粗品進呈!

盆提灯・盆料理・
盆返礼品(記念品)・盆菓子・
盆用供花・お線香・ろうソク・
お仏壇・仏具・神具など
多数の商品を各種取り揃えております。

JA 弊祭 プリエール宮崎 ☎0120-930-170
プリエール宮崎は宮崎市内に
4つの斎場・8つの式場がございます。

<https://priere-miyazaki.jp>

清武ホール 0985-85-4949 | 花ヶ島の社 0985-60-4949 | 佐土原の社 0985-74-4949 | 田野ホール 0985-86-4949

令和5年度中部地区農業者研修のご案内

研修名	日時	講座名
農業経営管理研修	6月15日(木)	農業経営Ⅰ
	6月20日(火)	植物生理(基礎) / 二十四節気と農業
	6月29日(木)	農業経営Ⅱ / G A P
	7月4日(火)	植物生理(応用)
	7月13日(木)	農薬・病虫害防除の基礎
	7月18日(火)	土壌肥料の基礎
	8月1日(火)	農業経営改善計画作成研修 ※就農5年目の認定新規就農者の方対象
	農業者研修	7月20日(木)
7月27日(木)		法人化基礎研修
8月31日(木)		ファシリテーションスキル研修
新規就農基礎研修	11月16日(木)	事業承継基礎研修
	8月3日(木)	新規就農制度・青年等就農資金 / 農業を始めよう!
	8月8日(火)	農地制度・農業者年金 / 農業用ハウスの基本仕様と構造
	8月17日(木)	農業共済制度 / ハウスの台風対策 / 農作業安全
	8月22日(火)	就農計画作成研修
	8月24日(木)	農業経営の基本の基 / 農業における税

※開催場所は、7月4日「植物生理(応用)」のみ総合農業試験場研修棟、それ以外は中部農業改良普及センター



←研修の詳細はこちら
(ひなた MAFiN ホームページへ)



←研修の申込みはこちら
(電子申請フォームへ)

※受講を希望される場合は、事前に電話や電子申請等にてお申し込みください。

**研修申込み
お問合せ先**

宮崎県中部農林振興局
地域支援課(中部農業改良普及センター)
TEL : 0985-30-6121

林 とうでしたか? 苦手な人も気にならず食べれましたか? 私もトマトは大好きなので、食べれない方の克服レシピになつたのかとても気になります! またお便り頂けたら嬉しいです☆

私 はトマトが大好きですが、夫は苦手なのでついトマトを敬遠しがち。トマトとツナの炊き込みご飯を見て「これだ!」と思いました。ぜひ試してみようと思います
(宮崎市 松元さん)

今 月の表紙良いですね。皆さん自信を持って紹介される顔がイキイキしています。清武のエコープが大好きです。皆さんが懸命に作られるお野菜が安心して美味しいです
(宮崎市 吉井さん)

4月号のご感想ありがとうございました。

Welcome JA

~読者からのお便り~



林 久々のイベントだったからでしょうか、多くの方にご来場いただきました! 私も撮影に行つてびっくり! 今月号にその様子を掲載いたしました。ありがとうございました!!

10 周年のわちどんが村祭に行きました。朝早くから大勢のお客さんでびっくり。せんぐまきに参加し、イベントや販売で楽しみました。
(国富町 西中さん)

おいしいミルクレシピを見て、今、市販のお菓子がたくさんあります。が、手作りすることで牛乳や干し椎茸、大根と体をつくる材料を使つておやつになるので子どもたちにどんどん食べさせようと思います。県内産牛乳の消費、月1回の牛乳の日が広まるように応援していきたいです
(宮崎市 久保さん)

林 イチゴ販売はJA宮崎中央の生産者と職員で担当していました。この場をお借りしてお礼とのことでしたので掲載させていただきます! ☆

空 港の園芸の祭典に行きました。きれいな花、新鮮な野菜、美味しいお茶。宮崎で生産されている農産物の豊かさに感動、農家の皆さんの元気な声に励まされました。荷物を落としてしまうアクシデントではイチゴの販売を行つていた方々に親切にして頂き本当にありがとうございました
(宮崎市 たまたまさん)

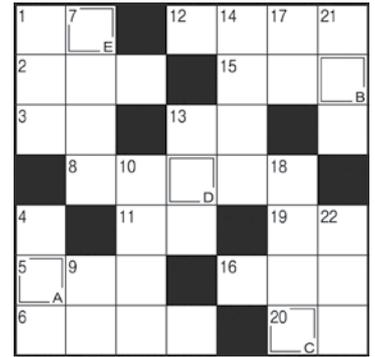
クテのカギ

1. 招く側がホストなら、招かれる側は
4. タマネギを切ると出ることも
7. 建てたばかりの建物のこと
9. 数字のゼロを日本語でいうと
10. サーブ→→→トス→アタック
13. 「海鼠」と書く生き物
14. 置き時計はクロック、腕時計は
17. 仕事や用事がない空き時間のこと
18. コショウ、ナツメグ、シナモンなど
21. プールの授業のときに着ます
22. 領収書に収入——を貼った

クコのカギ

1. 年で一番昼が長い日
2. 徳川家康が晩年を過ごした——城
3. 不動産会社が売買するものの1つ
5. 『落穂拾い』や『晩鐘』を描いた画家
6. 奈良や鎌倉のものが有名
8. テッセンとも呼ばれるキンポウゲ科の花
11. 相撲取りが踏みます
12. 抑揚のないせりふ回しは
13. トウモロコシやゴーヤーが多く出回る季節
15. 弁当箱にご飯と一緒に詰めます
16. ——コート、——ブーツ
19. 円周率を表す文字
20. ネタとシャリで作ります

二重マスの文字をA~Eの順に並べて
できる言葉は何でしょうか？



4月号の答え「ハルガスミ」

※当選者の発表は誌面にて行います。なお公正を期するため
本名での発表とさせていただきますので、ご応募の際は了解下さい。



4月号のプレゼント 完熟マンゴー

石井 美紀さん 松元ゆみ子さん
西中 順子さん 森本ゆうこさん
原 恵子さん

おめでとうございます
今月の応募は124通でした

5名様に
プレゼント

完熟マンゴー「太陽のタマゴ」



表紙・がんばり屋でご紹介した
マンゴー部会より

「太陽のタマゴ」をプレゼント!

旬の美味しさを読者の方々へプレゼント。
美味しさを知っていただき、ぜひご購入くだ
さい☆もちろん贈答としてもGOODです!



見てウツトリ。
食べてニッコリ。
マンゴーから元気を。
マンゴーゴ—!!

応募方法・締切

締切日
注意

下記の要領で **6月16日(金)**
(当日消印有効)までにお送りください。
当選者発表は8月号です。

プレゼントの発送は6月下旬~7月上旬を予
定しています。
8月号に掲載いたします当選者発表前の発送
となりますのでご了承ください。

※ご応募に際して取得した個人情報はこのたびのプレゼントの
抽選・発送以外には一切使用しません。また承諾なく第三者に
提供しません。但し、コメントに関しては「WELCOME JA」
に掲載させていただく場合がありますので、ご了承下さい。

63 〒880-0813

めぐみ6月号係
宮崎市丸島町1番17号
JA宮崎中央

①クイズの答え
○○○○
②〒・住所・氏名(匿名の
場合はペンネームも)・
年齢・電話番号
③JAだより「めぐみ」や
JA、農業に対するメッ
セージ、日常のこぼれ
話、イラストなど
(必ず書いてくださいね!)

どなたでも大歓迎!!

健幸運動教室体験

してみませんか?

宮崎市政出前講座

令和5年6月1日(木)

時間 10:00~11:30

場所 プリエール宮崎
花ヶ島の杜クリスタルホール



運動できる服装・履物でお越しください!
水分補給、タオルもご持参ください☆

協力:大宮地区地域包括支援センター・宮崎市役所地域包括ケア推進課

上記日程後も6月の毎週木曜日に同様講座を行う予定です。

ご興味のある方はお気軽にお電話ください!
プリエール宮崎 花ヶ島の杜 0120-930-170

臨時理事会

令和5年4月28日(金) JAAZM大研修室

- 1 理事の報酬について
- 2 役員賠償責任保険の加入について
- 3 業務報告書及び連結業務報告書について

以上3議案が、可決・決定及び承認されました。

総務部

人事教育課よりお知らせ

就業時の服装(女性職員の私服着用)について

当組合では、令和5年4月より、就業時における服装の選択肢を広げるにより職員の自主性と多様性を尊重するとともに、コミュニケーションの活性化、業務効率の向上につながることを目的として、女性の私服着用を一部スタートし、今後段階的に検討して参ります。

今後とも働きやすく活気ある職場づくり、ならびにお客様に好感をもって頂ける職場づくりに積極的に取り組んで参りますので、ご理解、ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

目的

- 1 平等な働き方を推進
- 2 組織活性化
- 3 脱炭素社会への対応

JA葬祭 プリエール宮崎

無料葬儀相談 随時受付中

～生前のご準備からご葬儀後のことまで～

随時受付中
(無料)

生前整理、墓じまい、ご葬儀、法要、初盆、片付け(遺品整理)、相続に関することなど…

どんなことでもお気軽にご相談ください。

安心・信頼のJAグループ葬祭 24時間年中無休

葬祭 プリエール宮崎 ☎0120-930-170

編集後記

先日取材で生産者の方からマゴーカーットについて学びました。きれいなカットにさすが!!の一言。私も上手に切ることができたら、いろんな場面で大活躍できそうです! まずはマゴーを買いに行かなきゃです! ご購入は式部の里をご利用ください。イベント等で福田店長には大変お世話になっています。明るくおしゃべりの面白い店長です! 店長も気軽にしゃべりかけて頂きたいとのこと。ぜひ皆さんに式部の里ファンになって頂きたいです!! (木)



交通事故はJA共済(交通事故処理センター)

8:30~17:00まで(平日) ☎35-3507

宮崎県夜間・休日事故受付センター

平日/17:00~
土日・祝・祭日/ ☎0120-258931

カード紛失時連絡先

- キャッシュカードの紛失 17:00~翌8:00(平日) 8:00~翌8:00(土・日・祝) ☎0120-646-106 ※上記時間以外はお取引店舗までご連絡ください
- JAカードの紛失 24時間受付・年中無休 ☎0120-159674

わちどんが村 式部の里 LINE@会員限定 毎月お得なクーポンが当たるチャンス!!

こちらのQRコードを読み取って友だち登録をお願いします!

その他にも各種イベント情報などをお届けします

宮崎の農産物をお届け! 宮崎てげうま産直便

農畜産品を生産者や生産地の情報に合わせてダイレクトにお届けします。

JA宮崎中央 みやざき中央農産物ファン拡大事業委員会 URL: http://shop.ja-direct.net/

毎日のあんしん・おいしいをおうちまで JAくらしの宅配便

インターネットで注文できるJAの宅配サービス! 国産へのこだわりと安全・安心の品質をご自宅やご指定場所へお届けします。

- オススメ!! その① 「安全・安心」にこだわり
- オススメ!! その② 地球環境にも考慮して商品開発を行っています
- オススメ!! その③ 安心の国産原料

お問い合わせ専用フリーダイヤル JAくらしの宅配便事務局 ☎0120-009366

受付時間 土曜日・日曜日・祝日を除く、午前9:30~12:00まで 午後1:00~5:00まで

※お電話でのご注文は承っておりません

JAくらしの宅配便ウェブサイト(インターネット) https://jakurashi.zennoh.or.jp/

入居者募集 agri PLUS

アパート、貸家の入居者を募集しております。

- ◆清武地区、木花地区を中心に宮崎市内全域に物件を取り揃えています。
- ◆学生向け、ファミリー向けなど幅広くご対応いたします。
- ◆宮崎大学近隣にも多数あり!!
- ◆なお、土地売買に関する業務も行っております。お気軽にお問い合わせください。

営業時間 月曜日~金曜日 (8:30~17:30)

「取り扱い物件」はこちらから確認! お手持ちのスマートフォンから、いつでも簡単に物件を調べることができます。

お問い合わせご相談はこちらまで! (株)アグリプラス 不動産事業部 宅建情報プラザ 宮崎市清武町加納4丁目1 ☎0985-85-6071

JA宮崎中央 ガソリンスタンド

6月定休日のお知らせ



4日、18日 ▶

- ・生目セルフ
- ・佐土原セルフ

- ・エポックエリア
- ・高岡セルフ

- ・田野SS
- ・三名SS

11日、25日 ▶

- ・宮崎セルフ
- ・那珂セルフ

- ・木花SS
- ・本庄セルフ

- ・清武SS

土日祝日 ▶

- ・八代SS

毎週日曜日は、**特売日**です!

※田野SSは毎週火曜日・八代SSは毎週木曜日が特売日となります

※特売日が定休日の場合は前日が特売日となります

タイヤ交換キャンペーン開催中!!



6月

お気軽にスタッフにお問い合わせください

侍中門マ

絵と文 山本俊六郎

侍ジャパンの勝利の映像、
何べん見ても飽きません、
打った、守った、頑張った、
みんな必死で頑張った、
そのご褒美が世界一、
みんないい顔しています、
心が一つにまとまって、
あの感動を生みました、
監督さんの言葉にあった、
夢は正夢、
世界一だけ追いかけて、
みんなの心が一つになって、
取った、掴んだ、世界一、
全くそうだと思います、
うれしいね、良かったね、
そのご褒美のお裾分け、
今日も、
我が家はテレビをつけて、
勝利のビデオをしています。



JA宮崎中央



めぐみInstagram
始めました!

※広報誌めぐみは
HPからご覧いただけます



June.2023 No.316 6月号